



歌舞伎の光と影

2025年

10月3日（金）

4日（土）

14時開演

おしゃべりと

朗読

河崎早春

西麻布

MFYサロンにて

朗読 独演会 歌舞伎の光と影

2025 年 10 月 3 日 (金)
4 日 (土)

14 時開演 (13 時半開場)

チケット 3000 円

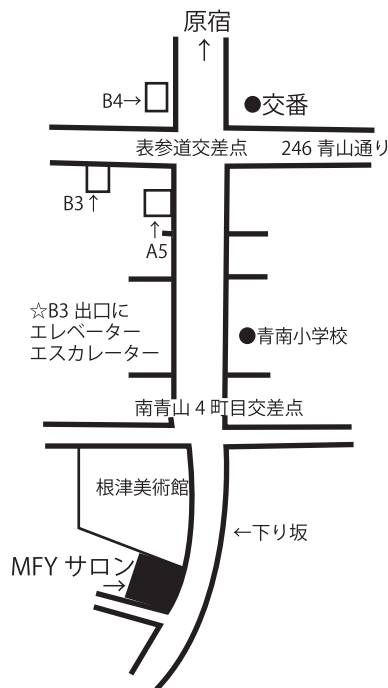
映画「国宝」を観た後、急に昔読んだ小説を思い出しました。年配の男性の一人語り。
心を惹かれましたが、男性が朗読するイメージがありそのままにしていたものです。

歌舞伎の世界の、残酷な物語。人間の心に棲んでいる…あるもの…。

ドラマチックな作品なのですが、あえてタイトルを書かなかったのは、結末を知らないで聞いて
いただきたと思ったからです。物語の世界に金縛りになってください。これまでの私の朗読を
ご存知の方に、こんな面もあるのかと思って聞いていただけたら嬉しいです。

おまけ…と言ってはなんですが、歌舞伎十八番「外郎売りの台詞」の解説
お客様からもう一度聞きたいというリクエストにお応えして…。

あんな面白いものがどうして滑舌の練習なんかで有名に！？止まらなくなった怒涛の言葉を制御
しようと必死になる、これは歌舞伎役者の腕の見せどころのハズだったのです。



お問い合わせ・お申し込みは

090-6194-0889 (河崎)

kotoba@saharu-k.com

小さな会場です。必ずご予約ください。

朗読 河崎早春

俳優、朗読家。青山学院初等部～同大学日本文学科卒業。
ギィ・フォワシ短編劇コンクールで最優秀賞受賞。
小舞台を中心に活動。20代の頃に朗読を故巖金四郎、
故臼井正明に師事した後、ジャンルや枠に
とらわれない独自の朗読の活動を初め46年。
NPO 日本朗読文化協会講師。



MFY サロン (カニングハム・メモリアルハウス)

港区西麻布 2-21-2 03-3400-3386
東京メトロ「表参道駅」徒歩 8 分

建築家アントニン・レイモンド氏の設計により昭和 29 年に完成。カニングハ
ム女史は明治 34 年に 2 歳で来日。その後、日本の若い人たちに一流の生のクラシッ
ク音楽を聞かせたいと「青少年音楽協会」を設立。私財をなげうって、100 歳で
病に倒れるまで活動を続けます。平成 12 年没。

根津美術館の堀に沿って坂を下る。
白堀の隣です。通り過ぎないように。

根津美術館の緑に囲まれた、この小さな文化財の一軒家で行う朗読会です。